

WVA ニュースレター — 2021年1月

WVA 会長からのメッセージ — DR. パトリシア・ターナー



見えざる者の窮状

親愛なる獣医師の皆さま

多くの国・地域で、新型コロナウイルス感染症の感染・発症から人々を守る非常に効果的なワクチンが供給されることを期待して、新しい年が始まりました。一方で、世界中の獣医師は自分たちが働いている地域社会の動物に獣医療を提供するために尽力を続けています。

今回は、世界獣医師会が12月に実施した犬や猫の獣医療に関する非公式調査の結果をご紹介したいと思います。この調査はWVAのアニマル・ウェルフェア委員会が作成した21問の短いアンケートで、評議員及びWVAの活動を支援いただいている専門家から回答を得ました。本調査の結果は最近実施された他の獣医師会による調査や論文*で発表された結果と同様で、ほとんどの伴侶動物診療施設が、これまでとは全く異なる方法ではありますが、飼育者へのサービスを提供し続けられていることを示しています。

また、多くの獣医師会では、コロナ禍において伴侶動物の飼育放棄が減少し、また飼育者からの動物の安楽死の依頼数が減少したと報告しています。感染拡大当初は猫や犬が飼育者にウイルスを感染させるのではないかという根拠のない恐れから、動物の飼育放棄が増える懸念がありました。この懸念はメディアで大々的に報じられ、養殖ミンクのようないくつかの例外を除いて、ウイルスの異種間感染は重要な問題を起こしませんでした。また、一部の回答には、クライアントが飼育している動物を受診させることはできるものの、世界的な貿易の混乱によりワクチンやその他の動物用医薬品の供給が不足しているとの意見もありました。伴侶動物については、飼育者が職場復帰した際に、動物が経験するであろう分離不安、パンデミック時と同じレベルの世話ができなくなり飼育放棄が増えるのでは、といった懸念の声が聞かれました。最後に、対面式のサービスが減少したために、伴侶動物のネグレクト、多頭飼育崩壊、虐待の疑いが発見しにくくなっています。

この調査では飼い主のいない犬や猫がコロナ禍でどのような影響を受けるかについても質問しました。一部の回答者からは、市場やレストランがほとんど閉鎖され、地域内での人の集まりが制限されているため、パンデミック期間中、これらの犬や猫が食料を見つけるのは非常に困難であったと指摘しています。ミンク農場に住み着いていた野良猫は、新型コロナウイルスを媒介する可能性を減らすために、ミンクと併せて安楽死させられることが多々ありました。

さらに、狂犬病予防接種プログラムや避妊・去勢手術を行うクリニックは、パンデミックのために多くの地域で閉鎖されています。これらのコメントを合わせると、多くの地域社会で飼育者のいない犬や猫の福祉が危険にさらされている可能性があり、犬が媒介するヒト狂犬病の撲滅など、これまで他の公衆衛生プログラムで得てきた成果を失う危険性があることが示唆されます。

私たちは、この世界的な新型コロナウイルス感染症の大流行を収束させるに至っていませんが、自分自身と他者をどのように守るべきかについては、かなりの経験と知識が得られました。獣医師が地域内外の公衆衛生

関係者や非政府組織と協力して、地域の動物の予防接種や去勢・去勢手術プログラムを安全に進めるための計画を策定し続けることが重要です。また、地域犬・猫への継続的なケアを確保する計画を立てる必要があります。もちろん、どのような計画を立てるにしても、ケアを行う人を十分に守らなければならないことは言うまでもありません。パンデミック下の地域社会でのこれらの活動に関連した経験やアイデア、ストーリーをお持ちの方は、ご遠慮なくご連絡ください。

敬具

世界獣医師会会長
パトリシア・ターナー

*Morgan L, et al. Human-dog relationships during the COVID-19 pandemic: booming dog adoption during social isolation. *Humanit Soc Sci Commun* 2020, 7:155. <https://doi.org/10.1057/s41599-020-00649-x>

WVA は、世界の公共の利益のために獣医師としての私たちの役割について、首尾一貫した世界的なメッセージを作成するために、皆さまの専門知識とご意見を必要としています。WVA の構成員及びオブザーバーメンバーの議論への参加を歓迎します。このプロセスから取り残されないでください。

この情報を会員の皆さまにお届けください。

ご興味のある方は、下記までご連絡ください。

WVA

Avenue de Tervueren 12, 1040 Brussels, Belgium

ウェブサイト：www.worldvet.org 電子メール：secretariat@worldvet.org

